

5 月 12 日 ネパールの地震

2015 年 5 月 12 日 16 時 05 分（日本時間、以下同じ）にネパールの深さ 15km で Mw7.2 の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

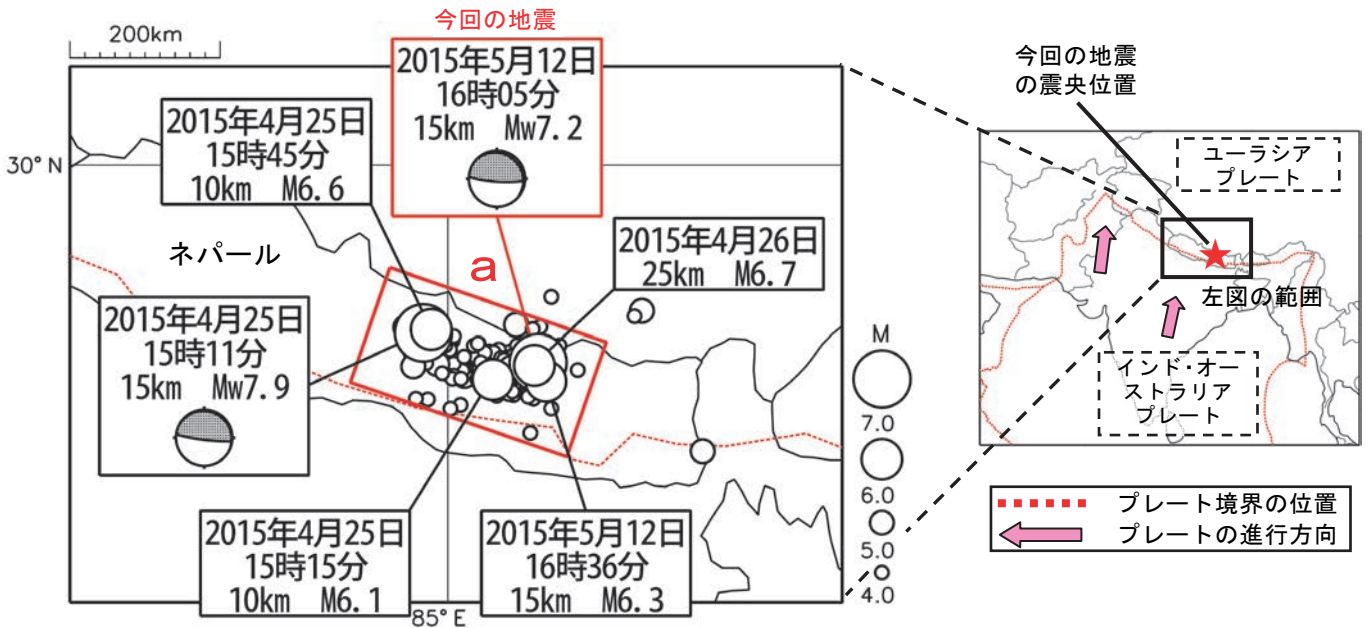
4 月 25 日には、ネパール国内で Mw7.9 の地震が発生しており、今回の地震は、その最大余震である。4 月 25 日の地震以降、4 月 28 日頃からは余震活動は次第に低下してきていたが、5 月 12 日に今回の地震が余震域の東端で発生した。5 月 31 日までに M6.0 を超える余震は 5 回発生している。

ネパール国内で、今回の地震により死者約 150 人、4 月 25 日の地震からの累計では死者 8,702 人の被害を生じた。

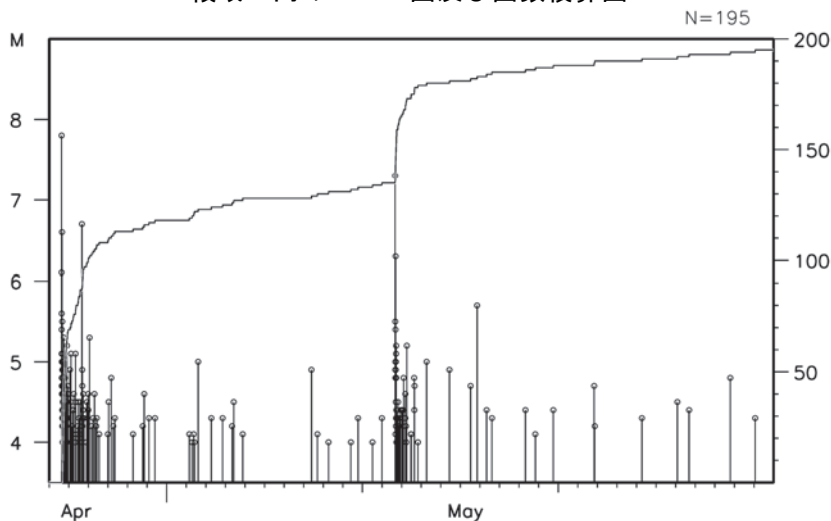
なお、気象庁は、今回の地震について、5 月 12 日 16 時 31 分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

震央分布図

（1980 年 1 月 1 日～2015 年 5 月 31 日、深さ 0～60km、M≥4.0）



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



※本資料中、震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (6 月 1 日現在)。ただし、今回の地震と 4 月 25 日の地震の発震機構と Mw は気象庁による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) * より引用。被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所) による (2015 年 6 月 3 日現在)。

* 参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.